

令和7年度学校評価（自己評価結果）

評価基準	評価項目	令和5年度	令和6年度	委員の意見
1.教育理念・目標	(1)学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	A	A	<p>・常日頃から理事会及び理事会以外でも、理事長及び関係管理者とヒアリング行っております。内容については、現在の状況又は将来構想について、優先度を含めた中で、課題などについて意見交換を行っています。</p> <p>・令和6年度は、市原市消防局に出向し、消防職場体験として、ドラゴンハイパー・コマンドユニットの放水見学や防火衣を着装しての放水体験を実施しております。また、市原市消防局とは学生の消防体験を継続的に実施できるよう連携を強化してまいります。</p> <p>・令和6年度は、病院前外傷処置法（JPTECプロバイダーコース）及びドローン講習を実施し、他の専門学校との差別化を図り、職業教育の特色としております。</p>
	(2)学校における職業教育の特色は何か	A	A	
	(3)社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	A	A	
2.学校運営	(4)目的等に沿った運営方針が策定されているか	A	A	<p>・令和7年度事業計画書に沿って学校運営を行っている。</p> <p>・適時ホームページ、SNSなどの媒体を活用して、学校行事（職場体験、JPTECプロバイダーコース、ドローン講習の様子）の情報公開を行っています。また、今回の第三者委員会の評価結果についても、委員会終了後、速やかにホームページに載せ開示する予定となっております。</p>
	(5)運営方針に沿った事業計画が策定されているか	A	A	
	(6)運営組織や意思決定機能は、規則等において明確にされているか、有効に機能しているか	A	A	
	(7)教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	A	A	
	(8)意思決定システムは確立されているか	A	A	
	(9)情報システム化等による業務の効率化が図られているか	B	B	
3.教育活動	(10)教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	A	A	<p>・令和6年度は、能力態度評価表を作成し、教職員に期初・期末の自己評価を実施し、管理者に面談を評価を実施していただいております。自己評価の点数が高い教職員がいることから、能力態度評価表をより詳細にすることで対応を図ってまいりたいと考えております。また、個人目標も記載できるように改正しております。今後につきましても、必要な改正を行いながらより良い方向に勤めてまいります。</p> <p>・教職員への能力開発の一環として、株式会社JALスカイの職員を招聘しての接遇研修を実施しております。また、教職員の能力開発の強化を図るためには、継続的な研修が必要と考えることから、今後も積極的に研修を実施してまいります。</p>
	(11)修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	A	A	
	(12)学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A	A	
	(13)キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	A	A	
	(14)授業評価の実施・評価体制はあるか	B	B	
	(15)成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A	A	
	(16)資格取得に対する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	A	A	
	(17)人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる案件を備えた教員を確保しているか	B	B	
	(18)職員の能力開発のための研修等が行われているか	A	A	
4.教育成果	(19)就職率の向上が図られているか	B	B	<p>・令和6年度就職率は、89.5%となっており、令和5年度の76%より増加しておりますが、評価については、就職率を限りなく100%に近づけたいという思いから横ばい状態としております。</p> <p>・資格取得率は、救急救命学科が91.7%、理学療法士コースが90.9%、作業療法士コースが87.5%の結果で、資格取得率が低下していることから、評価を変更しています。（全国平均：救急救命士94.4%・理学療法士89.6%・作業療法士85.8%）</p> <p>・退学者の低減については、残念ながら千葉校では8名（令和5年度11名）の退学者が認められており、令和5年度より若干減少しておりますが、退学者が8名を超えており、学校としては、重要な課題と認識していることから、評価を横這い状態にしております。</p> <p>主な退学理由は学力不足、進路変更などとなっております。</p>
	(20)資格取得率の向上が図られているか	A	B	
	(21)退学者の低減が図られているか	C	C	
	(22)卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	B	B	

評価基準	評価項目	令和5年度	令和6年度	委員の意見
5.学生支援	(23)進路・就職に関する支援体制は整備されているか	A	A	
	(24)学生相談に関する体制は整備されているか	A	A	
	(25)学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	A	A	
	(26)学生の健康管理を担う組織体制はあるか	A	A	
	(27)課外活動に対する支援体制は整備されているか	B	B	
	(28)学生の生活環境への支援は行われているか	B	A	
	(29)保護者と適切に連携しているか	B	B	
	(30)卒業生への支援体制はあるか	B	B	
6.教育環境	(31)施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長のご協力を賜り、施設・設備について積極的に整備しております。</li> <li>・千葉校の備蓄品を確認したところ、1672食の在庫であったため、備蓄品を購入して現在は、2980食の備蓄品を保有しております。  171名×3食×5日=2565食  26名×3食×5日= 390食 合計・2955食</li> </ul> 災害発生から72時間以降は、全国からの支援物資が到着すると言われておりますが、ライフラインの影響も考え、災害発生から210時間の備蓄品数を考慮しております。
	(32)学内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	B	B	
	(33)防災に対する体制は整備されているか	A	A	
7.学生募集活動	(34)学生募集活動は、適正に行われているか	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・募集活動では訪問先高校の進路担当者に国家試験結果及び就職状況を伝え、他の学校との比較を示すとともに、千葉校においては、日本全国を対象に募集活動を展開しております。</li> </ul>
	(35)学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	A	A	
8.財務	(36)中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	B	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・監査確定後は、速やかに本校のホームページに公開を行うようにしています。</li> <li>・財政基盤については、B評価からC評価に変更をしています。中長期的に学校の財務基盤を安定させるには、学生獲得が重要となりますことから、学生募集活動はもとより、DXやSNSツールを活用した広報活動を重点的に実施しております。しかしながら、令和6年度決算や令和7年度予算において、学校経営はマイナスとなっておりますので、不要な不動産の売却、又は不動産収益事業について検討を図り、早期に中長期的な財務基盤の安定に繋げていきたいと考えております。</li> </ul>
	(37)予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A	A	
	(38)財務について会計監査が適正に行われているか	A	A	
	(39)財務情報公開の体制整備はできているか	A	A	
9.法令等の遵守	(40)法令、専修学校の設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己点検評価は本委員会終了後、速やかにホームページに公開することとしています。 ※自己点検評価については、学校評価と読み替えること</li> <li>・個人情報漏洩に関することについては、USBなどのデバイスの使用を最小限とし、グーグルドライブにて管理する方針が教職員に浸透してきておりますが、まだまだ、精査する必要があることから、評価については、変更ありません。</li> </ul>
	(41)個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	B	B	
	(42)学校点検評価の実施と問題点の改善を行っているか	B	B	
	(43)学校点検評価の結果を公開しているか	A	A	
10.社会貢献・地域貢献	(44)学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度は、救急救命学科の学生が、高滝湖マラソン・トンエコマラソン（市原市）、佐倉朝日健康マラソン（佐倉市）、リバーサイドさかえドラムマラソン（栄町）及びアクアラインマラソン（木更津市）にボランティアとして参加しております。</li> <li>・地域住民の方々に大規模災害時には、本校を開放し一時避難場所として提供するために、東映団地の町会長と協議を行い協定書を作成する予定となっております。</li> </ul>
	(45)学生のボランティア活動の奨励、支援をしているか	A	A	
	(46)地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練を含む）の受託等を積極的に実施しているか	A	A	

※自己評価はAは良好・Bは概ね良好・Cは検討、改善